



平成24年度市民企画公募型事業

越後酒屋唄の世界

— おがまち長岡の仕事唄 —



[第1部]

酒屋唄の世界

～古くから語り継がれた伝統の「酒屋唄」をお楽しみ下さい～

出演/越路杜氏・蔵人

平澤清一、郷正博、山本豊、佐藤登之、渡辺将勝、小林修

野積杜氏・蔵人

高綱強、吉井徳衛、青柳長市、加藤儀平

[第2部]

酒屋唄—現代から未来へ—

～現代版酒屋唄としての合唱曲をお届けします～

指揮：山本義人

合唱：越後酒屋唄合唱団

*公募により集まった市民約50人による合唱団です。

越後長岡六段回 阿木耀子

越後長岡六段回 宇崎竜童



山本義人

菅野由弘作曲
【酒を造る里のものがたり】より、
米とぎ唄、仕込唄、三ころ

宇崎竜童・阿木耀子トークショー&合唱

司会：堀 敏彦 (TONY テレビ新潟アナウンサー)

合唱：長岡少年少女合唱団 指揮：中村美智子 伴奏：箕輪美帆

【お米は神様】作詞：阿木耀子 作曲：宇崎竜童

編曲：今成 満



長岡少年少女合唱団

【お米は神様】～酒造りは米作りから～

越後長岡応援団のお二人が、長岡の子どもたちに向けて作詞・作曲された「新曲」を、長岡少年少女合唱団が元気いっぱいに歌います。

2013.
3.17

[日曜日]

開場/13:30 開演/14:00

長岡リックホール・コンサートホール

全席自由 ¥1,000

チケット一般発売 :12月20日(木)～

リック友の会優先予約 :12月18日(火)10時～19日(水)18時 ※お電話のみ

長岡リックホール Tel/0258-29-7715 長岡市立劇場 Tel/0258-33-2211

【プレイガイド】長岡リックホール、長岡市立劇場、イオン長岡店、文信堂書店(長岡駅ビル CoCoLo内)

主催/財長岡市芸術文化振興財団

企画提案:越後酒屋唄を歌う会

企画協力:茂手木潔子(上越教育大学名誉教授)

お問い合わせ/財長岡市芸術文化振興財団

事業課(長岡リックホール内)TEL.0258-29-7715



長岡リックホール
Nagaoka Lyric Hall

越後酒屋唄の世界

— わがまち長岡の仕事唄 —



うざきりゅうどう
宇崎 竜童 さん

京都府生まれ。1973年にダウン・タウン・ブギウギ・バンドを結成しデビュー。「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」など数々のヒット曲を生み出すとともに、作曲家として多数のアーティストへ楽曲を提供。映画音楽では「駅-STATION」「社葬」でそれぞれ日本アカデミー賞最優秀音楽賞、優秀音楽賞を受賞。又、劇場音楽では、読売演劇大賞の優秀スタッフ賞を受賞。自身のライブ活動のほか、映画・舞台音楽の制作、俳優等、幅広く活動中。毎年秋には、お茶の水JAZZ祭をプロデュースし、自身のライブワークとなっている。



越後長岡応援団

あき ようこ
阿木 耀子 さん

横浜市出身。作詞家、作家、プロデューサー。夫の宇崎竜童と共に山口百恵の曲の作詞・作曲を手掛け、山口百恵の黄金時代を支える。女優としても多くのドラマ、映画、舞台に出演し、その魅力を存分に発揮している。近年はライフワークとして、近松門左衛門の「曾根崎心中」とフラメンコを融合させた作品「FLAMENCO 曾根崎心中」の公演をプロデュースし、上演を重ねている。同作品は2001年度の芸術祭舞踊部門で優秀賞を受賞した。2006年、紫綬褒章を受章



越後長岡応援団

長岡市との関わり

阿木耀子さんは、2008年の「米百俵デー市民の集い」で、「幸福へのパスポート〜今を豊かに生きるために」という演題で講演。その際、阿木さんが主宰する合唱団「ひふみレインボー」の名前は、良寛の「つきてみよ、ひふみよ」と始まる短歌にちなんでいるということがきっかけとなり、和島地域との交流が始まる。その後、和島小学校の校歌の制作を約束し、2010年3月に阿木耀子さん作詞、宇崎竜童さん作曲の和島小学校の新校歌が発表された。

また、2009年9月には市立劇場で、阿木耀子さんプロデュース、宇崎竜童さん音楽監督による「FLAMENCO 曾根崎心中」が上演され、フィナーレに出演者とともに宇崎さん、阿木さん夫妻が舞台上に登場すると、スタンディングオベーションが巻き起こった。2011年7月、長岡市の魅力の紹介やイメージアップに関する協力活動を担う「越後長岡応援団」に就任。

やまもと ぎじん
山本 義人 さん

イタリアオペラ小劇場「ルチア」公演でデビュー以後、多数のオペラの役を歌う。「バーンスタイン・ミサ」(井上道義指揮)、読響定期(ロジェストベンスキー指揮)をはじめ、第九、モーツァルト・レクイエム、戴冠式ミサ、シューベルト・ミサ、ヨハネ受難曲等のテノールソロを歌う。合唱指揮者としては05年ウィーンでの合唱指導が認められ「世界合唱フェスティバル2007」日本代表指揮者に指名される。ウィーンとザルツブルクでの演奏は観客総立ちの賛辞を得た。その後、アッシュケナージ、チョンミョンフン、汐澤安彦、広上淳一、船橋洋介の各氏と共演し演奏会の成功へ寄与している。指揮者として2012年12月にアンバサダー・オーケストラ・ウィーンを指揮し、ヨーロッパデビューを果たす。2010年2月に発表された菅野由弘作曲「酒を造る里のものがたり」(新作初演)で合唱トレーナーを担当。



二期会会員、埼玉オペラ協会理事長、東京音楽大学非常勤助手。「ぎじん会」主宰(常任指揮者をしている合唱団9団体の会)



長岡少年少女合唱団

1957年に長岡市教育放送局専属の「長岡わかさ合唱団」として発足。1977年の放送局廃止後は運営を保護者が引き継ぎ、1982年に「長岡少年少女合唱団」と改名。1998年からは(財)長岡芸術文化振興財団より支援を受ける。毎年定期演奏会を開催。新潟県少年少女合唱団合同演奏会、その他長岡市等の事業に多数出演。

2002年に皇太子殿下と雅子妃殿下をお迎えし開催された第13回全国「みどりの愛護」のつどい、2004年にオペラ「夕鶴」、2005年に青島志志司氏・進行の新潟県音楽コンクール40回記念コンサート絆、2006年は長岡市制100周年記念式典、2008年はロシアの少年少女合唱団「アムールの虹」演奏会、2009年は作詩の高丸もと子先生をお迎えして開催した曲集「今日からはじまる」特別演奏会、2011年は長岡交響楽団&長岡少年少女合唱団ジョイントコンサート、2012年はアオーレ長岡落成イベント、ウィーン少年合唱団演奏会に出演など活発な音楽活動を行っている。

■交通のご案内

〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6
TEL. 0258-29-7715

●バス：JR長岡駅大手口

- ・8番線から「中央循環バス」で(内回り)/県立近代美術館、外回り/ハイパ長岡)バス停下車、徒歩3分。
- ・7番線から「県立近代美術館行きバス」で、終点下車、徒歩3分。
- ・7番線から「江陽団地行きバス」で、<造形大学前>バス停下車、徒歩7分。
- ・7番線から「日赤病院経由」江陽団地行きバスで、<ハイパ長岡>バス停下車、徒歩3分。
- ・2番線から「日赤病院経由」出雲崎行きバスで、<県立近代美術館前>バス停下車、徒歩3分。

●自家用車：長岡インターチェンジ(関越・北陸自動車道)から車で約10分。

■お知らせ

- ・長岡リリックホール及び長岡市立劇場では、チケットの窓口販売のほか、郵送(有料)によるチケット販売も承ります。
- ・6ヶ月以上から小学校入学前のお子様を対象とした託児室(無料)を設置します。3月10日(日)までに(財)長岡市芸術文化振興財団事業課へお申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

■以下のことをご了承のうえ、チケットをお買い求めください。

- ・小学校入学前のお子様はご入場いただけません。小学生以上の方はチケットが必要です。
- ・ご予約・ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ・車椅子席をご希望の方は、長岡リリックホールでお求めください。
- ・プログラムは変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

